

昔ながらの伝統を維持しつつ、  
新たな手法を検討します



今年のアメッコ市

2月11日にアメを食べる風俗行事は、天正16年(1588年)頃が起源で、やがてこのアメを売るための「市」が始まり、伝承されてきたものです。これをまつりのイベント「大館アメッコ市」としたのは昭和47年からです。また、平成14年からは、周辺地域からばかりでなく県外からも集客を図ることを目的に開催日を2月の第2土曜日と翌日に変更し、今日に至っています。

アメッコ市が、全国的に有名になれる要素を持つているのはご指摘のとおりです。以前にもアメ細工のコンテストを実施したことがありましたが、なかなか菓子職人の権威の確立までには至りませんでした。ご提言の新しい味や保存が効くアメを開発し、大館みやげとして通年的な展示即売、付加価値の高い細工アメや新しい感覚の味を求め、全国的に参加者を募集することなどは、貴重なアイデアだと思います。昔ながらの伝統的なアメを守っていくことと、アメを食べる本来の意義を伝承していくことは大切なことですので、これらを維持しつつ、まつりのイベントまたは共催イベントとしてご提言が実現出来るかどうかを実行委員会に伝え、検討していきたいと考えています。

### 図書館に視聴覚室を

図書館に、ビデオを見たり、音楽を聴いたりする所が欲しい。(20代・女性)

### 図書館の充実を図ります

図書館は、図書などの資料を収集し、整理し保存するとともに、その資料を地域住民の方々に提供することにより、皆さんの教養を高め、調査研究などに役立つことを目的とする施設です。そのため、市では、話題になった本ばかりではなく、いろいろな分野の本や資料などを計画的に購入し、利用されるかたのご要望にお応えしています。

太古の昔、人類が紙を発明して以来、情報の記録方法は、紙に文字を記す本が中心であり、いろいろな記録媒体(ビデオテープ、カセットテープ、CD、MD、DVDなど)がある今でも、本は重要な位置を占めます。ご提言のビデオテープやCDなどの記録媒体は、近年になって普及し始めたものですが、それも今ではDVDやMDなどに移り変わりつつあり、過渡期にあると考えられます。仮に今の時点で準備しても、記録媒体の主流が次へ変わる可能性を秘めています。そのため、現時点では、他の記録媒体よりも、本などの資料を充実させたいと考えています。

特に、参考図書としての高額な辞書・辞典の購入や、貴重な郷土資料の保存にも努めて、将来に託していきたいと思っています。また、皆さんへ貸し出す図書は、購入に加えて他館との相互貸借も行いながら、「希望の図書は必ず提供したい」と努力しています。



なお、市民文化会館の1階ホールの「みどりライブラリー」で、CD、DVDの視聴が可能ですので、こちらのご利用もご考慮ください。



人と自然に優しいまちに

### 市長リポート

No. 270

先月から、全国初のPFI方式(公共サービスの提供を民間主導で行う)によるごみ処理施設「大館クリーンセンター」の試運転が行われています。大館クリーンセンターの焼却炉は、これまで燃やせないごみとして処理していた、衣類や草、枯れ葉、塩ビごみも、燃やせるごみとして焼却処理出来るものです。これに伴って、7月から、ごみの分別が変わりますので、ぜひ、新たな分別を覚えていただきたいと思います。

市では、平成14年に「大館市環境基本計画」を策定しました。その中で「ひとり1エコ運動」を推進しています。この1エコ運動は、物を大切に使う、ごみを減らす、車の使用を控える、省エネルギーに努めるなど、普段の生活の中で私たちが簡単に出来るものばかりです。私は、EMボカシによる生ごみのたい肥化(生ごみをEM菌で分解処理し、良質のたい肥に変える)に取り組んでいます。ボカシを買ってきてまくなど、多少の間隔がかかりますが、自然環境を守るための手段の一つだと思いつけています。

近年、大館市のリサイクル産業は、活発になってきています。長年の鉱山技術を活用した家電リサイクルや土壌洗浄、鶏ふんと生ごみからたい肥を作るコンポストセンター、廃木材と廃プラスチックを原料とした新建材製造事業、さらには貴重な木材を有効に利用する集成材製造事業など、多岐にわたる事業は、全国的にも注目されています。

新緑が美しい大館の街並みを歩いていると、この環境を守り続けたいとの思いが一層強まります。環境を守ることに、大館の企業や私たち個人が関わり、寄与できるというのは、とても誇らしいことだと思います。自分たちのために、次世代へ貴重な自然環境を引き継ぐために、心を一つに、人と自然に優しいまちを目指して、出来ることから始めましょう。

小物 元